



柏葉

平成30年
4月19日 第1号
編集責任
校長 小川 雄一郎



○ 平成30年度 スタート！

生徒の皆さん、保護者の皆様、初めまして。本年度着任しました校長の小川雄一郎です。福島中学校は私の母校でもあり、40年ほど前、小学校時代に伸ばしていた髪を切り（丸刈りにして）、緊張しつつも新鮮な気持ちで福中の門をくぐった記憶があります。当時の校舎はもうありませんが、歴史と伝統のある母校に赴任できたことを心から感謝しています。この母校での新しい出会いを大切にしながら、子どもたちのよさや可能性を引き出すことができるよう努力していきますので、よろしく願いいたします。

さて、4月9日、新たに137名の新入生を迎え、平成30年度がスタートしました。本年度は、下に示した重点目標の達成に向け、349名の子どもたちと職員が力を合わせ、「誇れる福中」を目指して、一步一步着実に取り組んでいきたいと考えています。

[福島中学校学校教育目標]

「自らの考えを持ち、共に学びあい、豊かな人権感覚・実践力を身につけた生徒の育成」

[目指す生徒像]

- 基本的な生活習慣（あいさつ、時間、清掃など）を身につけている生徒
- 主体的、積極的に学び、自己実現に向け、自ら努力する生徒
- 生命や人権を尊重し、思いやり協力して物事に取り組む生徒

「切磋琢磨」

[本年度の重点目標] → 「誇れる福中」へ

「進んで学習・進んで挨拶・進んで考動～進んでPLUS1～」

本年度の重点目標に関して、始業式及び入学式式辞で、次のようなことを伝えています。

進んで「挨拶」

挨拶は、人間関係の潤滑油。誰かに挨拶をするということは、その相手を「認めている」ということになります。認められていると感じれば、人は喜びます。そして、自分を認めてくれた人に対して好意的に接するようになります。今日、出会った仲間、中学校の先生や先輩たち、そして住んでいる地域やこれから出会うであろう人たちに、進んで挨拶を交わし、相手を認め、人と人とのつながりを大切に生活してください。

進んで「考動」

人からやらされるのではなく、自分で考え、行動を起こすということです。ただ、動くのではなく、仲間のことを考え、自分の成長のためにと考え、考えたことは、少々、きついなと思うことでも、それに耐える力・体力をつけ、やり遂げることができる人になってください。

進んで「学習」

学ぶということは、自分が成長するということ。新しい力を身につけ、身につけた力を使って新しい世界を広げること。たとえば、「動く力・移動する力が身につく」ということは、その力を使って動き回る世界が広がるということ、「話す・聞く・伝える・表現する力が身につく」ということは、その力を使ってたくさんの人とのコミュニケーションの輪が広がるということ。学校や家庭、地域で学び、学んで身につけた力を使って、皆さんのその手で新しい世界を広げてください。そこには、とても素敵な世界が広がっているはずですよ。

